

協力事業

令和4年度

7月 ふれあい祇園まつり
(中止)

8月 子ども陶芸教室(中止)

11月 稲田公民館文化祭
稲田公民館芸能発表会
(中止)

12月 そば打ち教室

み か げ

笠間市社会福祉協議会



稲田支部

第20号

令和5年3月30日発行

発 行 笠間市社協稲田支部
支部長 宮崎 守
編 集 稲田支部広報委員会
印 刷 大塩企画

ひとり暮らし高齢者の長寿を祝う

80歳以上のひとり暮らし高齢者の健康状況の確認及びその長寿を祝うため、毎年ひとり暮らし高齢者訪問(友愛訪問)を実施しています。

今年は1月22日(日)午前10時に、社協稲田支部役員と民生委員・児童委員が稲田公民館に集合し、民生委員・児童委員の担当地区ごとに高齢者友愛訪問を実施しました。

今回の稲田地区の対象者は55人でした。88区・89区・90区が4人、91区・92区・93区が9人、94区が3人、95区・96区・97区が13人、98区が4人、99区・100区が13人、110区が9人でした。

訪問の折には、紅白まんじゅうを手渡して長寿をお祝いすると共に、長年のご労苦に対してねぎらいの言葉をおかけしました。また近況や健康状況についてもお話をうかがいました。皆さんとても喜んでくださり、「地域の方にはいろいろとお世話になり、ありがたい」と感謝の言葉を頂きました。住民の高齢化が進む中、地域での見守りはますます必要となってきました。地域の皆様には、これからも見守りをお願いいたします。

「社協稲田支部役員ってどんな人？」

社協稲田支部役員が令和4年度に改選となりました。今号では役員の人となりの一端をご紹介します。



宮崎 守 支部長

- Q お住まいは？
大木田です。
- Q 好きな食べ物は？
納豆、柿
- Q よく見るテレビは？
暴れん坊將軍、小さな旅
ダーウィンが来た
- Q 心に残っている本は？
石田三成、三国志
- Q 座右の銘は？
継続は力なり
- Q 趣味は？
山菜採り
- Q 役員になってよかったことは？
地域の人々と広く知り合えたことです。
- Q 課題は？

もつと色々な行事に多く参加してもらえような輪を作りたい。

Q 今後の抱負は？

社協のあり方を理解してもらい、活性化を図りたい。

Q 地域の方へのメッセージは？

地域の皆様のご意見を待っています。また行事への参加を宜しくお願いします。



稲野邊 耕一 副支部長

- Q お住まいは？
下稲田です。
- Q 好きな食べ物は？
蕎麦、カレー、甘いもの
- Q よく見るテレビは？
大河ドラマ
- Q 心に残っている本は？
十五少年漂流記
- Q 座右の銘は？
一期一会
- Q 趣味は？
魚釣り、映画鑑賞

Q 役員になってよかったことは？

地域の方々との交流を通して、その人柄などに触れられたことです。

Q 課題は？

少子高齢化が進む中、地域ボランティア活動からの引退に伴う後継者不足が課題です。

活動を継続するためには次世代を担う若い人たちの協力・支援が必須です。

Q 今後の抱負は？

地域に居住する人たちが気軽に集まり、仲間づくりができるような交流の場として、行事やイベントを充実させたい。

Q 地域の方へのメッセージは？

地域の皆様に頼りにされる社協として一層精進してまいりますので、皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。



鈴木 隆 副支部長

- Q お住まいは？
大古山です。
- Q 好きな食べ物は？

フライドチキン

Q よく見るテレビは？

ブラタモリ、剣客商売
鬼平犯科帳

Q 心に残っている本は？

特になし

Q 座右の銘は？

笑う門には福来たる

Q 趣味は？

散歩、温泉の旅

Q 役員になってよかったことは？

多彩なボランティア活動に出会ったことです。

Q 課題は？

役員の高齢化です。

Q 今後の抱負は？

縁の下の力持ちになって微力ながら貢献したい。

Q 地域の方へのメッセージは？

みんなで助け合いましょう。



足立 登 会計

- Q お住まいは？
神田です。
- Q 好きな食べ物は？

INTERVIEW

園長先生に聞きました!



こども園園長
青木 早苗 先生

Q こども園の正式名称を教えてください。

「幼保連携型認定こども園大成学園いなだこども園」です。

Q 園長先生としての赴任はいつからですか。

平成31年4月からです。

Q お住まいはどちらですか。

来栖です。

Q こども園の印象はどうですか。

施設が新しく、設備が整っています。園児はのびのびとしています。

Q 園児数、クラス数、教職員数を教えてください。

園児数139名、7クラス、教職員数24名です。

看護師が常駐し、体調不良児対応型保育を行っています。

Q 園児のよいところはどんなところですか。

好奇心、探究心が旺盛で、遊びも自然を生かし自ら考えた遊びを中心に行っています。

Q こども園の自慢できることは何ですか。

園児の明るい笑顔です。そして園児と教職員が一体化して楽しく活動していることです。

Q 特色ある教育・保育活動を教えてください。

タブレット教室などICTの積極的活用、野山散策や沢遊び、親子ホタル観察会、天体観察会などの自然体験や自然観察を通じた理科教室、身体能力を高める体操教室・サッカー教室、楽しい英語教室などです。

Q そのほかに力を入れている活動はありますか。

小中学校との連携です。小学生と年長児の交流会、中学生の職場体験学習などです。

Q こども園の教育・保育目標は何ですか。

- ①健康で明るい子
- ②思いやりのある子
- ③自分で考え行動できる子
- ④豊かな表現のできる子です。

Q 園長として特に心がけていることはどんなことですか。

インクルーシブ教育や縦割保育なども取り組んでいます。

一人一人に寄り添い、一緒に活動しながら、園児の長所を伸ばしてあげたいと思っています。風通しのよい、働きがいのある職場づくりにも心がけています。

Q 地域の方へ何かメッセージはありますか。

園児は野外活動で外に出ることも多いので、出会った際には挨拶や言葉かけをお願いします。

Q 最後にこども園のPRを!

地域に根ざす施設として、子育て相談や親子広場「いなっぽ」を月2回開設しています。参加自由です。詳しくはブログをご覧ください。



白菜の漬け物、明太子

Q よく見るテレビは?

格闘技

Q 心に残っている本は?

天国に一番近い島

Q 座右の銘は?

備えあれば憂いなし

Q 趣味は?

ゴルフ

Q 役員になってよかったことは? いろいろな人との出会いにより、人生勉強できたことです。

Q 課題は?

役員の後任探し、地域人材の育成です。

Q 今後の抱負は?

地域の老若男女がこの地に住んでいて楽しいと思えるような環境作りのお手伝いを引き続きしていきたい。

Q 地域の方へのメッセージは?

コロナが徐々に収まりつつあります。コロナ前のようにイベント等を少しずつ再開していく予定です。その際は奮ってご参加ください。



フレイルってなに？

— 食べこぼしを防ぎ、

「笑う」筋肉をきたえよう —



フレイルとは、高齢者の虚弱状態を指します。今回は「オーラルフレイル」口腔機能の低下についてです。口の機能が衰えると、食べこぼしやむせ、誤えん、誤えん性肺炎の原因となることがあります。口の筋肉を鍛えることで口腔機能を回復させることができます。

「会話やカラオケで口を鍛えよう」

家族や友人との会話は、自然と口の筋肉を鍛えることにつながります。好きな詩や小説の音読、カラオケで思い切り歌うことも効果的です。楽しく口の筋肉を鍛えましょう。

練習の成果を発表！

— 高齢者芸能発表会 —

笠間市高齢者クラブ連合会主催による芸能発表会が令和5年2月16日（木）午前10時より、笠間公民館大ホールで開催されました。当日は、28人・5団体、計33の

発表がありました。歌謡が23人・4団体、詩吟が3人、そのほか舞踊が1団体、オカリナ演奏が1人、アルトサクソフーズ演奏が1人でした。稲田地区からは稲田けやき会（宮崎守会長）が、第一高齢者クラブの応援・友情出演を頂き、石切音頭の発表を行いました。皆さん、軽やかに稲田の伝統芸能を披露し、たくさん拍手を頂きました。その他の発表者も、凝ったステージ衣装やダンディないでたちで出場し、会場を大いに沸かせてくれました。また高齢者とは思えぬ声量と元気はつらつとした歌声や、すばらしい演奏に心を奪われました。

趣味を通じて心豊かに生活している高齢者の姿に励まされると同時に、人生の先輩の生きる姿を道しるべに老後生き抜いていきたいと感じました。



編集後記

ふるさとへ 柳澤 弘

五十年ほど前
ふるさとの山で採った
一本のすすき
今は二メートルほどの
大株になった
時に風と
たわむれながら
遠く秩父の
山なみの見える
ふるさとに帰りたいと
思っているに違いない
すすきよいつか
いっしょに帰ろう

この詩は産経新聞朝刊1面「朝の歌」の昨年の年間賞作品です。柳澤さんは102歳です。長寿社会の中で心豊かに生きることが多くの人々への励みとなっています。

新型コロナウイルス感染の影響で今年度も多くの事業が中止を余儀なくされ、残念な思いです。来年度こそと思いますながらこの記事を書いていきます。皆様もコロナに負けずご自愛ください。

広報委員 梅原 守

椎名芳男

潮田 浩

「食事がおいしくなる唾液腺マッサージ」
加齢によって唾液の量が少なくなる場合があります。唾液の減少でむせたり、のどに詰まりやすくなります。唾液腺（両ほほ・耳の下からあごにかけて、あごの下側）を刺激して、唾液が出やすくなる